

ABEST21 eNEWS April 2009, No.9

ABEST21 認証評価ニュースー9

ABEST21 は、3月25日(水)、認証評価委員会(委員長 Robert S. Sullivan, Dean of Rady School of Management, University of California San Diego)を、東京・品川のソニー株式会社本社会議室(2F)において、開催しました。認証評価委員のカネーゲームロン大学井尻雄士教授は13時間の時差のあるピッツバーグの研究室から Skype により委員会に参加されました。審議の結果、一橋大学国際企業戦略研究科経営専門職大学院(ビジネススクール)の国際経営戦略コースと神戸大学経営学研究科経営専門職大学院(ビジネススクール)の教育プログラムは非常に優れた教育プログラムであること、青山学院大学国際マネジメント研究科経営専門職大学院(ビジネススクール)、一橋大学国際企業戦略研究科経営専門職大学院(ビジネススクール)の金融戦略・経営財務コースそして筑波大学ビジネス科学研究科経営専門職大学院(ビジネススクール)の教育プログラムは優れた教育プログラムであることで、それぞれ ABEST21 認証評価基準を満たしているため「認証評価」の認定をしました。引き続き、同会場で認証評価証書(英文)の授与式が、Jim HHERBOLICH 氏(Deputy Director General and Director of Network Services at European Foundation for Management Development (EFMD)の列席のもとで行われ、Robert S. Sullivan 委員長より認証評価証書と優れた教育プログラムの取組として、青山学院大学の「Global Action Learning」、一橋大学の「World-class MBA Curriculum」、神戸大学の「Research-based Education」、筑波大学の「Global Hybrid-action Learning」がそれぞれ評価され、記念のプレートが授与され、Lawrence B. Pulley 氏 (ABEST21 理事、Dean, Mason School of Business, College of William and Mary)より閉会の挨拶がなされ、2008 年度認証評価の審査が無事終了しました。

また、認証評価委員会は関西学院大学ビジネススクールの「認証評価計画」を承認し、「自己点検評価報告」の作成を認めた。さらに、2010 年度認証評価として京都大学ビジネススクール、南山大学ビジネススクールそして国外から初めてのマネジメント工科大学ビジネススクール(マレーシア)の認証評価受審申請の受理を承認しました。

ABEST21 Research Project-2(企業ニーズ)-タイ

ABEST21 Research Project-2(企業ニーズ)の今回の報告は、タイの調査結果の概要です。タイでの調査はチェンマイ大学が担当されました。調査票は、1000社に送られ、その結果103社の回答を得られ、其の内有効回答数94社、有効回答率は9.4%でありました。回答企業の51%は国内企業で、海外に支店・工場を持つ多国籍企業は46%でありました。

MBA プログラムは現代の企業・社会のニーズに一般的に応えていると回答した企業は84%、応えていないとした企業は16%でした。また、MBA 取得の管理者は、有能な高度の専門知識やスキルを有していると回答した企業は88%、有していないとした企業は12%で、その一般的な評価は他国と比べて比較的高いものでした。

MBA 取得の従業員に対しては、戦略的思考力、ビジネスの理解力、高度専門知識及び理論的知識、広い見識と計画性、意欲的な知識向上力、勉強熱心で責任感、経営分析力、海外の MBA の語学力の点で、評価されておりました。その一方、自己中心的、MBA 知識の応用力の無さ、高い給与の要求等が問題点としてあがっていました。

MBA 取得者に対して回答企業が期待したスキルは、「戦略思考能力」、「意志決定能力」、「問題解決能力」、「チームビルド能力」、「リーダーシップ能力」、「プレゼンテーション能力と交渉力」、「組織化能力」、「分析思考能力」、「創造性」、「口頭コミュニケーション」が上位10位に上がっており71~87%の間で推移しておりました。それに対する観測値は期待値をすべて下回り、35%~49%の範囲で推移しておりました。また、MBA 取得者に対して回答企業が期待した知識はマーケティング、経営戦略、人材資源管理、ファイナンス、オペレーションマネジメント、販売・コスト管理、技術マネジメント、企業ガバナンス、アカウンティングの順で57%~77%の間で推移しており、それに対する観測値は期待値をとすべて下回り、28%~54%の範囲で推移しておりました。タイの特徴として、企業の期待値が他国と比べて非常に高いことが挙げられます。

更に、欧米のビジネススクールとの比較では、タイのビジネス状況をよく理解しており、とて

も柔軟性があり、同僚の意見にも耳を傾けることができる等と、国内ビジネススクールに対して好意的な評価でありました。

ABEST21 ニュース

=====

ABEST21 は、3月24日（火）ABEST21 総会と理事会を開催いたしました。そこではインドネシア大学(University of Indonesia)およびバンドン工科大学(Bandung Institute of Technology)そしてドイツの University of Applied Sciences Hof の ABEST21 加盟申請、この2年間を通じての ABEST21 認証評価システムの改善、そして ABEST21 認証評価基準の改正等が審議されました。また、24日には我々が文部科学省の委託事業として行ってきた評価システムの問題についての最終研究報告を国際シンポジウムの形式で行い、研究成果を CD にプリントし、当日の出席者に配布されました。

翌25日には品川のソニー本社で最終の認証評価委員会が開催され、委員会に引続き受審校に認証評価証書(英文)を手渡す授与式が行われ、また、ヨーロッパの EFMD(European Foundation for Management Development)の Jim Herbolich 氏による講演が行われました。

詳細については ABEST21 ホームページ <http://www.abest21.org/jpn/index.html> をご参照ください。

以 上